

「乳がん」は女性が最も罹患しやすいがんです 積極的に『乳がん検診』を受けてください



総合内科専門医
佐藤 絵里
(医療法人社団松恵会
けやきトータルクリニック)

近年の統計において日本人女性が生涯で「乳がん」に罹患する確率は9人に1人という高い結果が出ています。(出典:国立がん研究センターがん情報サービスがん登録・統計サイトによる「最新がん統計」2017年罹患情報)

「乳がん」のリスク因子として乳がんの家族歴、アルコール多飲、閉経後の肥満、高身長、出産経験がない、初産年齢が高い、授乳経験がない、などが報告されています。生活習慣の中ではアルコール摂取量を控える、閉経後に体重を増やさない、という部分が気をつけられることとなります。しかし「乳がん」は自分の努力だけですべて予防できるわけではありません。

私は一般内科医で、「乳がん」専門医ではありませんが、日常診療の中で乳がんを見つけることがあります。そのきっかけは患者さん自身の視診、触診にあります。

- 乳房にしこりがある気がする
- 胸に少し痛いところがある
- 乳頭から乳汁が出てくる
- 乳房におかしなへこみや変色した部分がある

このような症状のある患者さんを診てみたら、乳がんを発見したというケースです。

「早く見つけられて良かった」と思う場合がほとんどで、多くの患者さんは早期に手術をしてその後も元気に過ごしていらっしゃいます。しかしながら、しこりがあることに気付いてはいたけれど、誰にも相談できず、見つけたときにはかなり進行していたというケースもありました。



このように「乳がん」は自分で発見することができます。月に1回程度、視診(形や色に異常がないか)と触診(乳房を触って異常がないか確かめる)を行いセルフチェックすることを強くお勧めします。「乳がん」は乳房の外側上方に症状が現れることが多いため、そのあたりを中心に触っていただくと良いでしょう。

早期発見できれば完全治癒が望めます。セルフチェックで“おかしいな?”と思ったら、すぐに専門医の診察を受けてください。最も早く「乳がん」を見つけることができる手段は『乳がん検診』です。『乳がん検診』にはマンモグラフィとエコーがあり、これらを併用することでより高い検出率が得られます。女性の誰もが罹患可能性がある「乳がん」。早期発見するために『乳がん検診』をぜひ、女性の皆さんに受けていただきたいと思います。